

## 岐阜県職員倫理憲章 大垣土木事務所実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり大垣土木事務所実行計画を定めます。

令和8年4月1日

### 1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

#### 【取組事項】

- 職務上利害関係がある者との会食や遊技、金銭・贈答品の譲受等の行為については、「岐阜県職員倫理規程」を遵守します。
- 職務執行に対する不法・不当要求には、職員個人や担当窓口のみの対応に任せず、職場全体で対応するとともに、危機管理部等関係部署との連携を密にし、協働して対処に当たります。
- 通勤途上や出張時などの勤務中はもちろん、勤務時間外においても交通法規を遵守し、無事故・無違反を徹底します。

### 2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

#### 【取組事項】

- 人件費に対するコスト意識を持ち、事務の効率化を図ります。
- 事務用品の在庫管理の徹底、再利用の促進や、両面・縮小・2 in 1 コピーの積極的な活用などにより、事務経費についても一層の縮減を図ります。
- 職員の時間管理意識の徹底や所長以下管理職員による組織のマネジメント、職場内での工夫による業務の効率化、「早く家庭に帰る日」（8のつく日）、「ノー残業デー」（毎週水曜日）の徹底により、時間外勤務の縮減に努めます。

### 3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

#### 【取組事項】

- 日々の問題や生活現場の課題をしっかりと見据え、県民の目線で着実かつ速やかに対応します。
- 土木行政の更なる推進などに向けて、新聞やインターネット等から国や他県の動向などの情報収集を積極的に行い、情報の共有を図ります。
- 全ての職員が業務に関連した研修会等に積極的に参加して専門的能力・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めます。

### 4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

#### 【取組事項】

- 安全で安心できる道路、河川、砂防の機能確保をめざして、適正な維持管理を行います。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く事故や不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。
- あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう、職場内の緊急連絡網を整備します。

### 5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

#### 【取組事項】

- 県民に対する安全、安心の確保を最優先とし、事件、事故、苦情等に対しては、関係課、市町村等と連携し速やかな対応を図り、県民の信頼を損ねることがないように努めるとともに、再発防止に万全を期します。
- 問題発生時には、緊急連絡網等の活用により全職員への情報伝達を行い、情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。
- 危機管理広報事案については、広報課等と連携を図りながら、「岐阜県危機管理広報マニュアル」に則って、透明・正確・迅速な情報発信に努めます。

## 6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

### 【取組事項】

- 課長・係長会議を概ね毎月1回、課長会議や課・係内の打合わせ等を週一回以上実施し、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。
- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。
- 管理職員は、定期的に職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見具申できる雰囲気づくりに努めます。

## 7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

### 【取組事項】

- 地域活動等（自治会やPTA等の地域活動、ボランティア活動等）に積極的に参加して地域や社会に貢献するとともに、それを通して得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務に活かします。
- 時間外勤務の縮減や、年次休暇等の計画的な取得の促進により、職員が地域活動等に参加しやすい職場環境づくりに努めます。
- 小中学校の総合学習や県民主催のクリーン作戦等を積極的に支援することで、次世代を担う子どもたちや地域住民に、環境美化・保全等への意識を高めます。
- 主体的に育児に取り組めるよう、配偶者が出産する場合は、積極的に育児休業を取得させるなど、子育てを応援する環境づくりに貢献します。

## 8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

### 【取組事項】

- 情報発信に当たっては、県のホームページやマスコミなど、多様な広報媒体を効果的に活用するとともに、お役所言葉などの堅苦しい表現を避け、分かりやすく丁寧な表現を心掛けます。
- 道路、河川整備の方法については、必要に応じて県民にわかり易く説明するとともに、県民から意見や提言をいただき、道づくり、川づくりを進めます。
- 「県職員出前トーク」の講師派遣には積極的に協力し、参加者の意見聴取に努めます。

## 岐阜県職員倫理憲章 東海環状自動車道事務所実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり東海環状自動車道事務所実行計画を定めます。

令和8年4月1日

### 1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

#### 【取組事項】

- 職務上利害関係がある者との会食や遊技、金銭・贈答品の譲受等の行為については、「岐阜県職員倫理規程」を遵守します。
- 職務執行に対する不法・不当要求には、職員個人や担当窓口のみの対応に任せず、職場全体で対応するとともに、危機管理部等関係部署との連携を密にし、協働して対処に当たります。
- 通勤途上や出張時などの勤務中はもちろん、勤務時間外においても交通法規を遵守し、無事故・無違反を徹底します。

### 2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

#### 【取組事項】

- 人件費に対するコスト意識を持ち、事務の効率化を図ります。
- 事務用品の在庫管理の徹底、再利用の促進や、両面・縮小・2 in 1 コピーの積極的な活用などにより、事務経費についても一層の縮減を図ります。
- 職員の時間管理意識の徹底や所長以下管理職員による組織のマネジメント、職場内での工夫による業務の効率化、「早く家庭に帰る日」（8のつく日）、「ノー残業デー」（毎週水曜日）の徹底により、時間外勤務の縮減に努めます。

### 3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

#### 【取組事項】

- 日々の問題や生活現場の課題をしっかりと見据え、県民の目線で着実かつ速やかに対応します。
- 土木行政の更なる推進などに向けて、新聞やインターネット等から国や他県の動向などの情報収集を積極的に行い、情報の共有を図ります。
- 全ての職員が業務に関連した研修会等に積極的に参加して専門的な能力・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めます。

### 4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

#### 【取組事項】

- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く事故や不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。
- あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう、職場内の緊急連絡網を整備します。

### 5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

#### 【取組事項】

- 県民に対する安全、安心の確保を最優先とし、事件、事故、苦情等に対しては、関係課、市町村等と連携し速やかな対応を図り、県民の信頼を損ねることがないように努めるとともに、再発防止に万全を期します。
- 問題発生時には、緊急連絡網等の活用により全職員への情報伝達を行い、情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。
- 危機管理広報事案については、広報課等と連携を図りながら、「岐阜県危機管理広報マニュアル」に則って、透明・正確・迅速な情報発信に努めます。

## 6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

### 【取組事項】

- 課長・係長会議を概ね毎月1回、課長会議や課・係内の打合わせ等を週一回以上実施し、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。
- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。
- 管理職員は、定期的に職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見具申できる雰囲気づくりに努めます。

## 7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

### 【取組事項】

- 地域活動等（自治会やPTA等の地域活動、ボランティア活動等）に積極的に参加して地域や社会に貢献するとともに、それを通して得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務に活かします。
- 時間外勤務の縮減や、年次休暇等の計画的な取得の促進により、職員が地域活動等に参加しやすい職場環境づくりに努めます。
- 主体的に育児に取り組めるよう、配偶者が出産する場合は、積極的に育児休業を取得させるなど、子育てを応援する環境づくりに貢献します。

## 8 県民との対話を大切に、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

### 【取組事項】

- 東海環状自動車道に関する県の窓口として、県民の皆様に適時・的確に情報提供できるよう情報収集に努めます。
- 情報発信に当たっては、県のホームページやマスコミなど、多様な広報媒体を効果的に活用するとともに、お役所言葉、専門用語など、形式的で堅苦しい表現を避け、県民目線で、誰にでも分かりやすい、丁寧な表現に心掛けます。